

働きたい人みんなが働けるまちを目指して！

はたらくきずな



第4回 富士市ユニバーサル就労協力企業会 開催 2023年11月17日



パネルディスカッションの様子



協力企業パネル展

第4回富士市ユニバーサル就労協力企業会を富士市交流プラザにて開催いたしました。協力企業36社、40名の方のご参加をいただき、第1部は基調講演、第2部はパネルディスカッションを行いました。また、ギャラリーにて、協力企業パネル展を同時開催いたしました。

CONTENTS

■第4回富士市ユニバーサル就労協力企業会 ■新規パイロット事業所紹介

新たに認定登録された協力企業の紹介

2023年11月10日現在

認定番号	企業名	業務内容
238	株式会社デイリーはやしや 富士山工場	食品製造（お弁当、おにぎり等）
239	株式会社ミツムロ	機械部品製造、組立て
240	株式会社INB	建設用資材の運搬・輸送および管理
241	有限会社大石塗装	工業製品（製缶品）の塗装
242	東水梱包運輸株式会社 静岡営業所	食品添加物工場での充填・梱包・荷役作業
243	株式会社下村製作所	自動車等関連部品（ネジ類）の製造
244	町田食品株式会社	豆腐関連商品の製造販売
245	東洋レヂン株式会社	医療部材の製造
246	株式会社稲葉商店	産業廃棄物処理・リサイクル業
247	株式会社ハイ・バリュー	ソフトウェアの提案・開発・導入・サポート
248	株式会社山恭製紙所	板紙製造

協力企業名は富士市のWEBサイトcity.fuji.shizuoka.jpに掲載されています

「トップページ > くらしと市政 > くらし・手続 > 就職・労働 > ユニバーサル就労 > ユニバーサル就労推進事業認定協力企業」の、「認定協力企業一覧」のPDFデータでご覧いただけます



ユニバーサル就労は、企業の皆様の協力なくしては実現しません。日頃のご理解・ご協力に感謝しております。

ユニバーサル就労を推進するために欠かせないのが、雇用や就労体験の場を提供してくださる企業様の協力です。ユニバーサル就労に興味のある企業の皆様、ご連絡お待ちしております。

読者の ご意見・ご提案募集！

富士市ユニバーサル就労広報係は、読者のご意見やご提案を募集しています。下記メールアドレスまでご連絡をお待ちしています。

サポーター募集！！

富士市ユニバーサル就労支援センターではサポーターを募集しています。身近に困っている方がいたら是非「富士市にはユニバーサル就労支援センターがあるよ」とお声掛けをしてあげてください。

■登録料無料
■年会費無料



あなたが知ること
まわりの誰かが
知ることになります



富士市ユニバーサル就労支援センター 広報係

富士市ユニバーサル就労



〒416-8558 静岡県富士市本市場432-1 フィランセ東館1階
TEL 0545-62-7520

メール ▶ fuji-uw@tokaido-sigma.jp

WEBサイト ▶ <https://f-uw.com>



第4回 富士市ユニバーサル就労協力企業会

■ 講師コメント

現在、障害者就労支援サービスを多様な就労困難者に適用する、縦割りから横申しへの横断的就労支援の実装が推進されています。多様な働き方が社会の前提となるなら、当然、支援や選択肢も多様である必要があります。このような新しい風が吹くなか、第4回協力企業会が開催されました。パネルディスカッションでは3名のパネリストの方から、センターを通じて採用した人材を戦力化するべく実践している創意工夫について大変刺激的な話題提供がありました。そこで共通したのは、当事者や周囲に対しての「ちょっと丁寧なマネジメント」でした。日本企業は人を育てることに長けているとこれまでも言われてきましたが、あらためて「現場の力」を実感させていただきました。この力を、さらに働きづらさを抱える方の雇用拡大に活かすことで地域にどのような変化が起こせるのか、これから富士市から目が離せません。今回は、本当に貴重な機会を頂き、ありがとうございました。

講師 静岡産業大学経営学部准教授
川端 奈津子 氏

障害児入所施設や児童相談所にて勤務の後、現在は静岡産業大学にて准教授を務める。発達障害がある方の職場定着支援等を研究テーマに、障害児福祉や障害者雇用を専門とした研究を進めている。2023年度からは厚生労働大臣が定める職場適性援助者（ジョブコーチ）養成研修講師も務めている。



参加者の声（アンケートより）

**富士市のユニバーサル就労について、
どのようなお考えをお持ちですか？**

「手探りの1～2年目から大きく成長し、成熟期を迎えつつあると感じています。今後も“参加型”で応援しています！」
「多様な事情を持つ方を受け入れることが可能な体制づくりは、会社の成長にもなると思います」
「特性を活かしての就労は会社にとって大きな強みになると思います。長く働いていただくためにも、お互いにプラスになる事が重要だと考えています」

**今後の協力企業会についてのご意見・ご要望、
ご感想などございましたらお聞かせください。**

「採用された企業様のお話など聞ける機会は参考になります。今後も継続してほしいと思います」
「他企業のユニバーサル就労についての取組、入職後のフォロー体制等を、パネルディスカッションにて生の声として聞くことが出来、今後当施設でのフォロー体制の見直しにも繋げていきたいと思っています」
「パネリスト企業さんの取組は素晴らしく、優れるものだと考えます。これを市単位ではなく、県、国へ発展させる事が、ユニバーサル就労にとっての近道になるかと思います」

多様な働き方で働きがいも企業成長も ～富士市ユニバーサル就労の挑戦～

11月17日（金）、富士市交流プラザにおいて、第4回富士市ユニバーサル就労協力企業会が開催されました。

冒頭、森田正郁副市長のあいさつで、ユニバーサル就労支援センターのこれまでの実績と協力企業への感謝の言葉が述べられました。

続いて、「多様な働き方で働きがいも企業成長も～富士市ユニバーサル就労の挑戦～」というテーマで、静岡産業大学の川端奈津子准教授による基調講演とパネルディスカッションが行われました。

第1部の基調講演では、人手不足の深刻化、労働者のニーズの多様化といった現在の就労における現状や課題に加え、障害者就労支援機関にも障害以外の多様な就労困難者の相談および支援を求める声が増えている現状について説明がありました。そのような中で、発達障害者への職場定着に向けた取組の流れや、実際に成功している企業の特徴などの紹介がありました。

第2部のパネルディスカッションでは、富士市ユニバーサル就労の強みのひとつでもある協力企業の中から、3社の企業の方にご登壇をいただき、基調講演の内容をふまえ、「受け入れ企業で実践する配慮や工夫」をテーマとして、川端奈津子准教授の進行で進められました。パネリストには、パイロット事業所である富士センコー運輸株式会社、ケンコーマヨネーズ株式会社静岡富士山工場、NPO法人ファインケアの担当者3名を迎え、これまでに働きづらさを抱えていた方を雇用した実践例や、その際の配慮や工夫、その後の本人や周囲の変化などの発表がありました。

その後、「コミュニケーション」と、「雇用するにあたっての配慮や工夫をすることは企業にとってコストなのか、それとも人材を戦力化していくための投資なのか」といった2つの論点で、これまでの取組や実体験などを交えながら活発な意見交換がなされました。

最後に、コミュニケーションにおいては、「面談の積み重ね」、「非言語での表情等の読み取り」、「聞き取りではなく教えてもらうつもりで話を聞くこと」等の大切さ、そして、一元的にはコストではあるが、工夫をすることで、「コストを超える大切なものが得られるのではないか」という意義が語られ、終了となりました。



静岡産業大学
川端 奈津子准教授

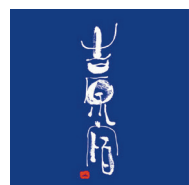
特定非営利活動法人 東海道・吉原宿

就労の第一歩に

特定非営利活動法人東海道・吉原宿は、指定管理者として富士市民活動センター「コミュニティ」の運営を行っています。市民活動センターはミーティングスペースや交流スペースの提供、印刷サービスのほか、相談業務など市民活動に興味のある方が利用する施設です。

富士市ユニバーサル就労支援センターの取組を知り、すでに若年者向け就労支援施設からの受け入れを行っていた経緯もあり協力企業となりました。資料作成の補助や受付業務の補助などの経験をとおり、自分が本当にやりたいと思える仕事に就くまでの「就労の第一歩」を踏み出す場所として捉えてもらえたら良いのでは、との意向からパートタイム雇用として支援センターから繋がった2名の方を雇用しています。

そのうちのBさんは持病があり手術を受けた後ということもあり、勤務時間や職場の衛生環境などの面で配慮を必要としていました。あらかじめBさんの病状や配慮いただきたい点などを詳細にお伝えし、職場見学、就労体験および3日間の無償通勤を経て、勤務日数や時間、重い荷物の移動作業は避けるなどの配慮をいただき、まずは短時間からの勤務を開始されました。その後、勤務日数を増やすなど勤務を継続されています。



代表
鈴木 大介 様(右)



富士中央ケアセンター 事務長
佐野 光司 様(左)



富士センコー運輸株式会社
経営企画部課長 風間 雄大 様



ケンコーマヨネーズ株式会社
静岡富士山工場
管理部部長 若林 敏和 様



NPO法人ファインケア
総務部課長 遠藤 礼朗 様